

経営管理科 2年D組

教科	商業	科目(単位)	簿記(3単位)
使用教科書	新簿記 新訂版(実教出版) 前年度から継続使用		
授業形態	通常授業 ・ 分割授業 ・ T T		

1 科目の目標

簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・財務諸表の作成に関する会計処理方法や考え方など、企業会計の一連の手続きについて、演習を行い、理解を深めます。
- ・会計情報をより活用するために、その情報分析や財務指標の計算が出来るように十分な演習を行います。
- ・11月に日商簿記検定2級(不合格者は2月にも受験)、1月に全商簿記実務検定1級(会計)を受験します。
- ・「財務会計I」4単位、「原価計算」5単位と連携を図り授業を進めます。

3 学習の方法

- ・教科書で用語や基本問題、例題を確実に理解してから、練習問題に取り組みます。
- ・練習問題では板書の解答を写すだけではなく、自ら進んで計算をし、問題を解くようにすると早く理解ができます。
- ・単元ごとで内容が大幅に違いますので、必ず毎時間復習し、十分な理解が必要です。
- ・わからない問題をそのままにしないで、授業中や休み時間を利用して先生や理解できている友人に質問をして、確実に理解をしていきましょう。

4 課題・補習について

- ・年間4回の定期考査を実施します。
- ・夏季、冬季、春季休業中にはそれぞれ課題が出され、休み明けに課題テストを実施します。
- ・定期考査や小テストの結果をみて、必要な場合は補習を行います。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

- ・日商簿記検定 2級
- ・全商簿記実務検定 1級 会計

教	科	商業	科目(単位)	簿記 (3単位)
---	---	----	--------	----------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	第26章 特殊な商品売買の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・割賦販売、委託販売、未着商品売買、試用販売、委託販売の取引に関する基礎的・基本的知識と手許商品区分法や未実現利益整理法などの記帳法を理解する。 ・手形の書き換え、不渡手形、荷為替手形、手形の裏書きや割引き時における偶発債務の記帳法を理解する。 ・複数の仕訳帳を用いる複合仕訳帳制度に関する役割を理解し、その基礎的・基本的知識と記帳方法を理解する。 ・特殊仕訳帳の意味を明らかにし、現金出納帳、当座預金出納帳、仕入帳、売上帳の記帳方法を理解する。 	小テスト 行動観察 提出物 前期中間考査
5	第27章 特殊な手形の取引 第28章 仕訳帳の分割		
6 7	第29章 5伝票による記帳		
8 9	第30章 本支店の取引 第31章 本支店の財務諸表の合併 株式会社の会計の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・5伝票制を用いる帳簿組織に関する役割と集計を理解し、その基礎的・基本的知識と起票に関する技術を習得する。 ・支店会計が独立している場合の本支店取引や支店相互間の取引における本店の役割を理解する。 ・未達取引の整理、内部利益の相殺、内部利益の控除の一連の流れを理解するとともに、計算方法を理解する。 ・財務諸表の合併処理に関する、技術を身に付ける。 ・本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作成方法を理解する。 ・株式会社の設立と株式発行時及び増資について理解する。 ・株式会社の利益処分、損失処理について基礎的・基本的知識を理解し、会社法に基づく利益準備金の積立額の記帳方法を理解する。 ・株式会社の発行する社債の意味と役割について理解する。 ・法人税等や消費税の納付方法の違いによる記帳方法の違いを理解する。 	小テスト 行動観察 提出物 課題テスト 前期期末考査
10 11	検定試験問題演習		
12	貸借対照表 損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・会社会計規則等に基づいて貸借対照表の作成方法を理解する。 ・会社会計規則等に基づいて損益計算書の作成方法を理解する。 	小テスト 行動観察 提出物 課題テスト
1 2	検定試験問題演習 連結財務諸表		
3	総復習		学年末考査